

# ふれあい

平成27年2月 第344号  
 大代地区コミュニティ推進協議会  
 ( 広 報 部 )  
 事務局：大代地区公民館  
 TEL 022-364-8442

## 掲 載 目 次

- 新年を祝う会を実施しました・・・1
- 震災による家屋被害と再建状況・・・1
- 自分の安全確保・・・2
- 阪神淡路大震災二十年目に思いを寄せて3
- 言論の自由に喝！・・・3
- 大代地区運動教室参加者募集・・・4
- ふれあい短歌・・・4
- 大代地区公民館まつりのお知らせ・・・4

大代地区の世帯数(平成26年12月31日現在)：東区352、中区339、西区331、北区121、南区621、合計1,764

### 新年を祝う会を実施しました

広報部

大代地区コミュニティ推進協議会主催による恒例の「新年を祝う会」が1月10日(土)小野屋ホテルにおいて開催しました。今年も多くの方々のご出席をいただき、互いに新年を迎えられたことを喜ぶとともに親睦、交流を図っていただきました。

催し物として、暁流による日本舞踊や第一、第二百寿会によるダンス、また自慢の踊り、カラオケを披露する方など、素晴らしさと微笑ましさを感じる出しものに、会場からは、

笑みと拍手が湧きあがり、楽しひと過ぎた。きまごすをとい楽、あが湧きと笑み



第一百寿会の皆さんによるダンス



暁流による日本舞踊



第二百寿会の皆さんによるダンス



内ヶ崎さんによる乾杯

祝宴の後、抽選会が行われ、様々な協賛品も並ぶなど、場を大きく盛り上げていただきました。最後は、橋本南区長による万歳三唱で、お開きとなりました。



遠田千恵さんによる舞



橋本南区長による万歳三唱

今年で24回目となる恒例の行事ですが、これまで大きな災害や試練を乗り越え、切らずことなく毎年続けて開催できることに、改めて地域の方々や支えてくださっている多くの方々に心から感謝申し上げます。今後とも皆様からのご意見等を大切に、地域に貢献する事業を展開してまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

### 震災による家屋被害と再建状況

大代中区 小野 菊郎

東日本大震災から3年10ヶ月になりました。全国のみならず外国からもご支援を賜り改めて感謝と御礼を申し上げます。

震災復旧も進んでおりますが、いまだ、仮

設住宅住まいも解消されておらず、早期に災害公営住宅の完成が待たれます。宮城県の被災市町村では、国の復興予算で復旧工事や復興工事が進行しておりますが、遅延が見られ残念でなりません。福島では、原発事故により自宅へ戻れない方が終の棲家をどこにするか、無理に決断を迫られておりなんとも痛ましい限りです。大代では、貞山掘や砂押川の堤防工事が進んでおります。緩衝緑地公園内でも樹木の植栽が行われております。完成はまだ先の事です。

中区では、1丁目全区域、3丁目90%の区域が津波被害を受けました。建物被災世帯数、再建等の状況は、平成26年12月末現在左記のとおりです。

### 大代中区

- 被災世帯数 221 (戸建 120 貸家 101)
- 解体世帯数 67 (戸建 37 貸家 30)
- 修理世帯数 154 (戸建 72 貸家 82)
- 再建世帯数 30 (戸建 16 貸家 14)
- 更地 23ヶ所
- 世帯数 339 人口 820
- (平成23年3月世帯数 375 人口 920)

### 自分の安全確保

大代東区 藤原 昭雄

自分の安全の為に何か考えていましたか。実施していることはありませんか。

多賀城市でも安全、災害、事故ゼロなど減災の為に取り組んでおります。雨水対策、避難道路の確保、防災無線の充実、各種団体（防犯協会、婦人防火クラブ、防災協議会、安全協会等々）の充実、定期的に勉強会や訓練の実施。5年に一度だった市の防災訓練を毎年実施する。これも行政指導、トップダウンでなく、各行政区にあった訓練ができるように皆様方の意見を取り入れそれぞれにあった訓練を基本に計画しています。

そういった自分を取り巻く情報をフル活用して身の安全を確保してください。自分の安全が確保できれば周りの人の安全も担保できると思います。災害の時に、逃げ遅れたのか、逃げなかつたのか、その時の自分の判断が一番大事になりますが、その時でも逃げない時の危険、逃げる道中の危険などもあります。今、自分にどんな危険が迫っているかをいち早く判断して取るべき行動を選択する。その為の情報をど

う得るのか、テレビ、ラジオ、防災無線や行政の広報車などが考えられます。しかし残念ながら現在の防災無線は、大代に限らず聞こえない、聞きづらいという声があります。

そんな時に、防災無線の内容を聞くことができます。防災無線テレホンサービス「022-309-0228」で聞き逃した防災無線の内容を聞くことができます。これは、多賀城市で配った「みんなの防災手帳」の別冊に載っています。防災無線については多くの声が挙がっています。でも、すぐに改善とはいきませんから、ぜひみんなの防災手帳も活用してください。これには東北大学の今村文彦教授の監修で、色々な災害の被害を減らすことや、だれがだれをどのように助けられるのかなどが時間軸に合わせて記載してあります。さらに各所に空欄が多くとってあります。これは、災害の種類や個人ごとに対処すべきことが違いますからぜひここに必要なことを書き込んで利用してください。それから次に隣近所の助け合いになり、行政の手はだいぶ後になりますから。自分は自分しか守れません。

## 阪神淡路大震災二十年目に思いをよせて

大代南区 星 繁子

「冬来たりなば春遠からず」と寒い冬の生活に希望を与えてくれる句文でもあり私は大好きでした。でも、3・11の震災以来、気象は狂ってしまったのでしょうか？

昨年の冬の大雪で北海道や日本海側の地域ではいたましい雪の事故があり心が痛みました。その冬も過ぎ、希望の春と思いきや、春の台風・竜巻・夏の台風による洪水、豪雨による広島・地滑り、長野県御岳山の噴火など次々に起こる災害には必ず人的物的な犠牲があります。3・11の震災を体験し国内のみならず世界の皆さんから暖かい御支援をいただき今日があると思っています。

私も何かしなくては!!と思いつつも何も出来ない自分にいら立ち市役所に足を運びました。市役所の受付には募金箱がありました。災害が発生する毎に災害地の名前が変わります。私は「元氣になりました。さい」と真心を込めて募金を続けました。年が明け暖かいお正月が続きましたが、さて今年はどうなるのやら。

1月17日は阪神淡路大震災から20年の

節目の年でテレビや新聞では阪神淡路の復興の状況、肉親や友人を失いつつもたくましく生きる姿。なかなか立ち上がれない人もおりました。それを支える地域の人達、ボランティアさんに頭が下がります。

私達は、常に災害と背中合わせに生活しております。いつ何処で何が起こるかかわかりません。減災を意識し、その立場でできる助け合いを考え一日一日を大切に生きようと思えます。

被災地の石巻の人達は500個のキャンドルを灯し阪神淡路の震災で犠牲になられた方々の御冥福を祈っていました。私も17日朝5時46分、テレビの黙とうに合わせ御冥福を祈りました。本来なら募金の事など人に話す事ではないのですが、一人でも多くの人が助け合いに参加する輪を広げたいと思ったので敢えて書かせていただきました。

### 言論の自由に喝!

大代南区 針生 吉治

昨年12月の暮、25年ぶりに故郷に帰り、通夜の晩、近所の方々や寺の住職さんと話し合う機会があり、会話の中で意外と政治に関心を持っていることに気付く。

私たち高齢者を取り巻く生活環境は消費税の引き上げに加え、医療介護保険料等の引き上げ、さらに特例水準解消のための年金支給額の引き下げにより年金収入を唯一の柱としている年金生活者にとっては大変厳しいものとなっています。

新年度からは維持費の安いことで人気のある軽自動車の税金も引き上げられる。企業は経営難。国は財政難を理由に挙げればいいのかもしれないが、我々国民は家計難であっても給料は上がり泣きつく所もない。景気がいいと感じている人はほんの一部で多くの人は人ごとと冷めた思いが実情だ。

増税以前に無駄遣いはないか徹底的に見直し節約すべきである。我々はそのようにして人生設計して生活している。我々が出来て政治家が何故出来ないのか、いや、しないだけだ。

30数年前、行政改革を言い出したのは政治家自身ではないか。内容は、国会議員の数が多(衆参含む)議員を減らす事をあげ、未だにこの事を決めていない。国外支援の(額)の削減と選挙の公約へ、誠実に誠意をもって力の限りという言葉を繰り返す候補者の声が響く。我々国民が期待

したことも事実である。そのことを論ぜず議員を増やすことを論ずる。税で悩む国民をさておき、党派の人数を増やす。争う姿勢に嫌気を感じたのは私だけだろうか。自分たちの事を論ずる前に国や国民の事を考えて論じてほしい。

まず、賃金を上げる事が優先である。財布の中が潤えば、心も潤いお金も世に回る。今年も、スーツや振り袖に身を包んだ新成人の若者が未来に希望を持てる国を作ってほしいと切に願う。

### 大代地区運動教室参加者募集

多賀城市 健康課 成人保健係

寒い時こそ、身体もこころもあたたかくして、運動不足を解消しませんか？ご夫婦、ご近所お誘いの上ぜひ参加ください。

内容 誰にでもできるストレッチ

転倒予防や脳トレ体操・講話等  
体を動かすことが苦手な方でも大丈夫です。

日時 2月18日(水)・25日(水)

3月4日(水)・18日(水)

午前10時から12時まで

場所 大代地区公民館 2階会議室

対象者 大代地区にお住まいの60歳以上の方。

定員 30名

持ち物 上靴 飲み物 筆記用具

動きやすい服装で参加ください。

申込・問合せ

2月13日(金)まで

多賀城市健康課成人保健係

電話 368・1141(内線132・134)

※申込み状況により期限以降でも随時受け付けます。



運動教室の様子

### ふれあい短歌

大代西区 藤田 遊子

復興の 大代地区に

春来れば 雲雀は揚がり 百花繚乱

### 大代地区公民館まつりのお知らせ

大代地区公民館まつり実行委員会

平成26年度大代地区公民館まつりを、3月14日(土)・15日(日)の2日間の日程で開催予定です。

大代地区公民館を利用する団体が日ごとの成果を発表する場として、切り絵やはがき絵、油絵、パンアートなどの作品展示のほか、社交ダンス、レクリエーションダンス、日本舞踊、カラオケなどの体育室ステージ、フロアを利用した舞台発表を予定しております。また、その他にも体験コーナーなども開催予定ですので、お楽しみに。

なお、「ふれあい3月号」に詳しい内容を掲載したいと考えています。内容については、現在、大代地区公民館まつり実行委員会を立ち上げ、団体の方々に企画検討中です。

※今月の砂押川外河川災害復旧工事の報告は紙面の関係上お休みさせていただきます。